令　和　8 年　9 月
京都市立九条塔南小学校
校　長　　出口　章

令和8年度全国学力学習状況調査の結果

4月23日に、本校6年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果(国語・算数)　国語科では、全国平均をやや下回る結果となりました。算数科では、全国平均とほぼ同じ結果となりました。全体的に未記入や無回答が少なく、時間が限られている中で頑張って取り組んだ結果が出たように思います。

国語科より

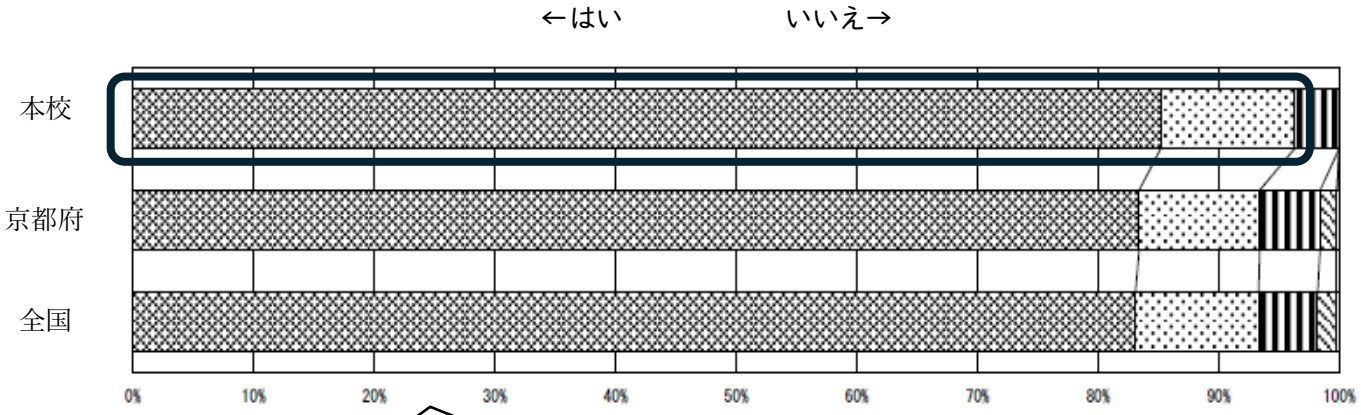
特に複数の資料の内容を読み取り、必要な情報を抜き出し、答える問題での正解率が全国平均より高い結果となりました。普段から、子どもたちが iPad を活用して、画面上で情報を比較したり、大事なポイントを整理したりする作業を積み上げてきた成果だと思います。一方で、この問題を無回答にしている児童も多かったです。最後の問題ということもあり、時間がなかったことも理由にあがると思います。また、漢字を使って文の中で正しく書き直す問題も、無記入や正答率が低いことが目立ちました。普段からの新出漢字の宿題だけでなく、漢字を使いこなすようになるためにも、辞書の活用や読書、自主学習などを積極的に行っていくことも大切だと思います。

算数科より

基礎基本となる計算や目盛りを読む問題では正確に答えることができていました。また、分数の問題では、数や言葉を用いて考えを書く記述式の問題がよくできていました。スキルタイムや宿題などを通しての計算力向上の取り組みや、授業の最後に「今日の大事」としてまとめる取り組みの積み重ねが生きているのだと思います。一方で、グラフやデータから数量や関係を読み取って答える問題では、全国平均より2ポイント下回っています。昨年度もこの分野が苦手な傾向にあったため、引き続き、授業での取り扱いを大切にしていきたいと思います。

児童質問紙調査から①

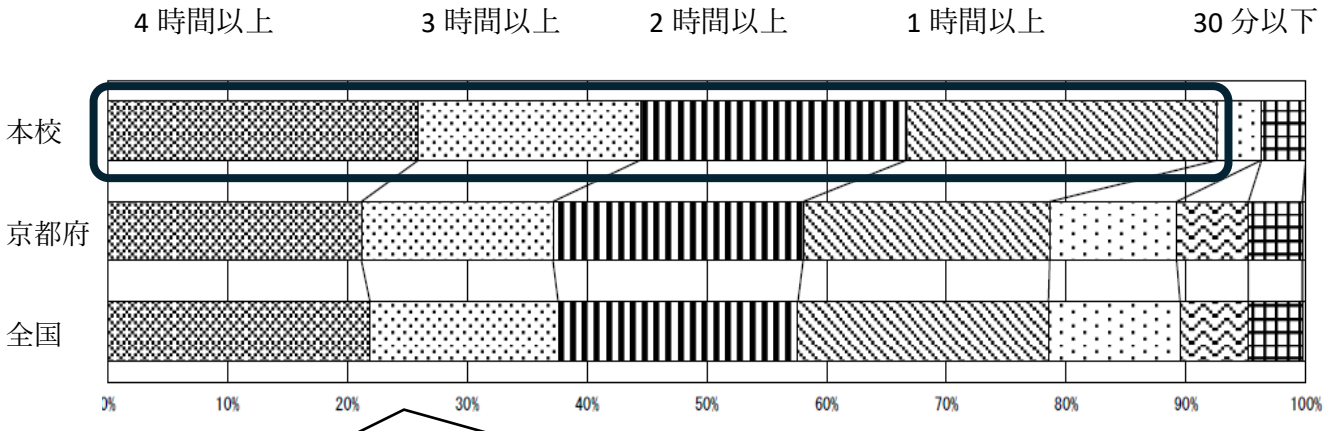
Q 朝ごはんを毎日食べていますか。



「はい」「だいたい食べている」と答えている児童が約90%を超えており、京都府や全国の割合と比べても高い値を示しています。朝ごはんを食べると、脳が活性化して、学習に集中できると言われています。朝のお忙しい中、朝ごはんのご準備ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

児童質問紙調査から②

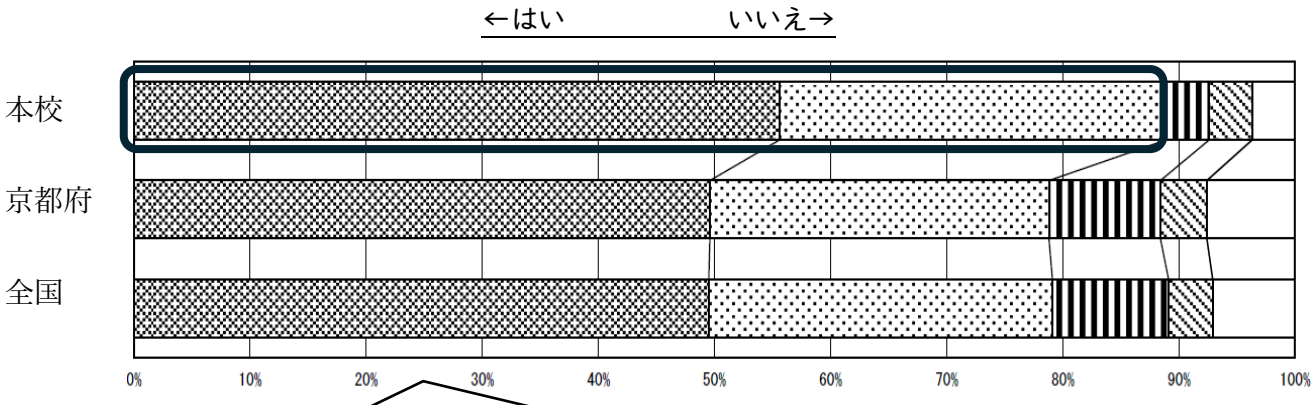
Q 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）で SNS や動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



「4時間以上」「3時間以上」「2時間以上」「1時間以上」を合わせると全体の90%になります。京都府・全国の割合と比べて、本校は SNS や動画視聴時間が長いことがわかります。SNS や動画視聴は、子どもたちにとって楽しみな時間であり、日々の勉強や学校生活の疲れなどを癒す「気分転換」として有効な側面もあります。大切なのは、「楽しむ時間」と「生活リズム」のバランスです。ぜひ、この機会にルールや使い方の約束などについてご家庭で話し合っていただき、子どもが適切にコントロールしながら使えるよう、温かい声かけと見守りをお願いします。

児童質問紙調査から③

Q あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか



「はい」「ほぼできる」と答えた児童が約90%おり、京都府と全国と比べて高い割合になっています。多くの児童が ICT 機器を使った文章作成に自信を持っています。学校では引き続き、効果的な活用法を指導していきます。また、ノートやワークシートを活用した学習も継続していきます。児童の実態や学習内容に応じて、双方の強みを活かした効果的な指導に取り組んでまいります。

全体を通した本校の成果と課題

本校では「夢や希望に向かって、心豊かにたくましく輝く子の育成～自分から、そして自分たちの力で輝く九条塔南の子～」という教育目標のもと、保護者や地域の皆様のご協力を得て、取り組みを進めています。具体的には、子どもたちが「自ら課題を見つけ、協同して解決に向けて行動していく力」を身につけるために、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校だけでなく、家庭や地域全体で、みんなで育てていくことが重要だと考えています。その基盤となる「心」を育むために、教職員が一丸となって子ども一人一人を大切にした学習活動を行っております。また、基本的な生活習慣は、児童の健康や学習活動にも影響を及ぼしていきます。今回のアンケートでは、朝ごはんを食べている児童が多く、よい一日のスタートが切れていることがわかりました。また、ICT機器を使いこなすことは、もはや必修ではないかとも感じます。全学年のタブレットがiPadに変わりました。今までの学習の積み重ねで出来たことを生かしながら、新たな学習のツールとして、どの子もが負担なく使えるように、ご家庭の協力も受け賜りながら、準備、実践していきたいと思います。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更にのばしたり、課題を解決したりするためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。この調査をもとに、本校の児童の学力・学習の状況の傾向を知り、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。学力は、学校・家庭・地域で取り組んでいることが積み重なっていくことで、定着していきます。また、基本的な生活習慣や日々の学習習慣が学力の基盤となります。今後とも、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。